

| | |
|-------------|-----------|
| 泊発電所3号炉審査資料 | |
| 資料番号 | 資料1-3 |
| 提出年月日 | 令和5年5月18日 |

泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト

(第4条 地震による損傷の防止(既工認との手法の相違点の整理))

| ID | No | コメント内容 | ヒアリング日 | 対応状況* | 回答完了日 | 回答概要 | 資料反映箇所 | 積み残し事項の回答予定時期 |
|-----------|----|--|-----------|--------|-------|--|---|---------------|
| 230417-03 | 1 | PPT全般) 設置許可段階での論点の定義を明確にして、説明すること。 | R5. 4. 17 | 本日回答 | | 設置許可段階での論点の定義について、「評価手法, 評価条件の論点の定義」として、「設置変更許可申請段階におけるプラントの耐震成立性確認を目的として、『他プラントを含む既工認及び新規審査での適用例のない評価手法, 評価条件の適用』を泊3号炉の設置変更許可申請段階における評価手法, 評価条件の論点」と定義し、PPT資料に反映した。上記の整理を踏まえ、審査会合に諮る位置づけ及び資料の建て付けを整理し直した。 | 資料1-1『泊発電所3号炉 耐震設計方針のうち評価手法, 評価条件の論点整理について』 p. 3, 全般 | |
| 230417-08 | 2 | PPT10ページ) 取水口平面図の貯留堰と護岸の接合部にゴム等のジョイントが入るのであれば、右の図の左右方向のみならず、奥行き方向の健全性も必要になるので、その健全性を踏まえた貯水機能に対する評価について整理し、説明すること。 | R5. 4. 17 | 後日回答予定 | | 取水口と貯留堰の健全性を踏まえた貯水機能に対する評価について、今後、「別紙6 土木構造物の解析手法及び解析モデルの精緻化について」においてご説明する。 | — | 2023年7月 |
| 230417-09 | 3 | PPT10ページ) 材料強度の適用については、女川のコンクリート骨材が異なることも踏まえて整理し、設定方針を説明すること。 | R5. 4. 17 | 後日回答予定 | | 材料強度の適用性について、今後、「別紙6 土木構造物の解析手法及び解析モデルの精緻化について」においてご説明する。 | — | 2023年7月 |
| 230417-10 | 4 | まとめ資料160ページ等) Novakの地盤側面ばねを硬岩で適用する場合には、その適用性について先行の審査実績を再確認すること。入力地震動の評価において非線形の1次元波動論を適用する場合は、先行の審査実績を再確認すること。 | R5. 4. 17 | 本日回答 | | 泊3号炉では側面地盤ばねとして、水平ばねのみを採用する設計方針である。 泊3号炉と同様の設置状況(支持地盤, 側方地盤とも硬質岩盤でありS波速度の差が小さい)である先行サイトでの側面水平地盤ばねの適用実績も複数確認している。 また、入力地震動の評価においては、上記のとおり地表面まで硬質岩盤であることから、非線形性を考慮しない設計方針である。 | 資料1-2『泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(設計基準対象施設等) 第4条 地震による損傷の防止(DB04 r. 3. 15)』 p. 4条-別紙1-添付1-34~35 p. 4条-別紙1-参考1-14~15 | |

*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。